

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 3 日作成)

委員会名	PC 部材終局性能・設計法小委員会	主 査 名：中塚 信
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：浜原正行
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2004 年度に計画するシンポジウム、ならびに数年先に計画される当会のプレストレストコンクリート設計施工規準・同解説に対する新版発刊に向けて、PC 部材の終局性能を明確化すると同時に、同規準にまとめるべき部材設計法について審議・検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：中塚 信(大阪大学) 幹事：阿波野昌幸(日建設計) 委員：浅川弘一(オリエンタル建設)・岡本晴彦(竹中工務店)・寒川勝彦(ピーエス三菱)・岸本一蔵(大阪大学)・北山和宏(東京都立大学)・是永健好(大成建設)・河野 進(京都大学)・菅田昌宏(竹中工務店)・永井 覚(鹿島建設)・浜原正行(日本大学)・増田安彦(大林組)・溝口 茂(高周波熱錬)・鳥屋隆志(ドーピー建設工業) 以上 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	<b>PC 接合部WG</b> ： 現行の PC 規準には PC 梁 - 柱接合部の規定はないが、数年先に予定される新 PC 規準には、PC 接合部設計法の提案が不可欠である。	
2003 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価				
	開 催 日	5 / 29	8 / 19	11 / 19	1 / 30
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	参 加 者 (人)	13	12	11	11
	提出資料数	10	8	6	6
	得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本小委員会の目的である PC 部材の終局性能(曲げ耐力、せん断耐力、変形性能、接合部耐力、定着部耐力など)に関する資料を収集・審議すると同時に、新 PC 規準のあるべき姿を、最新の鉄筋コンクリート構造の性能評価指針などを参考に検討し、以下のような内容をもつシンポジウム「(仮題)プレストレス(鉄筋)コンクリート部材の性能設計に向けての研究の現状」を、最終年度末までに開催すべく報告書作成に取りかかっている。 [ A ] PC 鋼材の付着性能 [ B ] PC 梁部材の荷重 - 変形関係 [ C ] PC 壁部材の荷重 - 変形関係 [ D ] PC 柱・梁接合部の性能と設計法 [ E ] 圧着接合部の性能と設計法 [ F ] PC 架構の構造性能			
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 現在、報告書原稿の作成に取りかかりだしているため、ほぼ予定取りの進捗状況と考えている。				
その他評価すべき事項					